



独立行政法人 国立文化財機構「文化財防災ネットワーク推進事業」

特別講演会

歴史と共に考える 文化財の防災・減災

日本列島に暮らす私たちは、繰り返し襲う地震や津波、台風に向き合わざるを得ません。また、火災や盗難、病虫カビとも対峙しつつ、時には戦乱という大きな人的災害も乗り越え、豊かな文化を育み連綿と歴史を積み重ねてきました。文化や文化財はこの地に引き継がれた私たちの歴史の証です。

近年の大規模自然災害と文化財の防災・減災を考える時、これまで文化や文化財がどのようにして引き継がれてきたのか、教科書だけでは語られない歴史の一面を、今、あらためて学びたいと思います。

参加無料

(申込不要) 定員 280 名
受付は12:30から

平成28年

7月18日(月・祝)13:00～16:30

13:00～13:05 開会挨拶 島谷弘幸(九州国立博物館長)

基調講演

13:05～13:40 **正倉院の管理について**
— 同じ場所で、これまでずっと —
杉本一樹(宮内庁正倉院事務所長)

講演(13:40～16:25)

13:40～14:05 正倉院と自然災害 — 宝庫修理の歴史から —
飯田剛彦(宮内庁正倉院事務所)

14:05～14:30 近衛家の歴史と文化財
羽田 聡(京都国立博物館)

14:30～14:55 東山御文庫と図書寮文庫
— バックアップと疎開で守った資料 —
田代圭一(宮内庁書陵部図書課図書寮文庫)

14:55～15:10 (休憩)

15:10～15:35 明治維新と廃仏毀釈
野尻 忠(奈良国立博物館)

15:35～16:00 関東大震災、第二次世界大戦時の文化財
— 東京国立博物館の歴史における災害 —
恵美千鶴子(東京国立博物館)

16:00～16:25 歴史資料を未来につなぐということ
— 大名家文書と在地文書、熊本震災の経験から —
稲葉継陽(熊本大学・熊本大学附属永青文庫研究センター)

16:25～16:30 閉会挨拶 岡田 健(国立文化財機構防災ネットワーク推進室長)

会場 九州国立博物館 ミュージアムホール
(福岡県太宰府市石坂)

主催 九州国立博物館


九州国立博物館

[問い合わせ先] 九州国立博物館

〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2
TEL: 092-918-2834・2842

(九州国立博物館ホームページ) <http://www.kyuhaku.jp>



「平成28年度美術館・歴史博物館重点分野推進支援事業」